
平成 3 0 年 第 5 回 臨時会

上富良野町議会会議録

平成 3 0 年 1 1 月 2 日

上富良野町議会

目 次

第 1 号（11月2日）

○議 事 日 程	1
○出 席 議 員	1
○欠 席 議 員	1
○遅 参 議 員	1
○早 退 議 員	1
○地方自治法第121条による説明員の職氏名	1
○議会事務局出席職員	1
○開会宣告・開議宣告	2
○議会運営等諸般の報告	2
○日程第1 会議録署名議員の指名について	2
○日程第2 会期の決定について	2
○日程第3 報告第1号 専決処分の報告について (交通事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて)	2
○日程第3 議案第1号 専決処分の承認を求めることについて (平成30年度上富良野町一般会計補正予算(第6号))	2
○日程第4 議案第2号 平成30年度上富良野町一般会計補正予算(第7号)	3
○閉 会 宣 告	4

平成30年第5回上富良野町議会臨時会付議事件一覧表

議案 番号	件 名	議決月日	結 果
1	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度上富良野町一般会計補正予算(第6号))	11月2日	承認可決
2	平成30年度上富良野町一般会計補正予算(第7号)	11月2日	原案可決
	報告		
1	専決処分の報告について (交通事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて)	11月2日	承認可決

○議事日程(第1号)

- 第 1 会議録署名議員の指名について
第 2 会期の決定について 11月2日 1日間
第 3 報告第1号 専決処分の承認を求めることについて
(平成30年度上富良野町一般会計補正予算(第5号))
第 4 議案第1号 専決処分の承認を求めることについて
(平成30年度上富良野町一般会計補正予算(第6号))
第 5 議案第2号 平成30年度上富良野町一般会計補正予算(第7号)
-

○出席議員(14名)

- | | | | |
|-----|-------|-----|--------|
| 1番 | 中澤良隆君 | 2番 | 岡本康裕君 |
| 3番 | 佐川典子君 | 4番 | 長谷川徳行君 |
| 5番 | 今村辰義君 | 6番 | 金子益三君 |
| 7番 | 北條隆男君 | 8番 | 竹山正一君 |
| 9番 | 荒生博一君 | 10番 | 高松克年君 |
| 11番 | 米沢義英君 | 12番 | 中瀬実君 |
| 13番 | 村上和子君 | 14番 | 西村昭教君 |
-

○欠席議員(0名)

○遅参議員(0名)

○早退議員(0名)

○地方自治法第121条による説明員の職氏名

- | | | | |
|--------|-------|---------|-------|
| 町長 | 向山富夫君 | 副町長 | 石田昭彦君 |
| 総務課長 | 宮下正美君 | 企画商工観光長 | 辻剛君 |
| 保健福祉課長 | 鈴木真弓君 | | |
-

○議会事務局出席職員

- | | | | |
|----|-------|----|-------|
| 局長 | 深山悟君 | 次長 | 岩崎昌治君 |
| 主事 | 大井千晶君 | | |

午前9時00分 開会
(出席議員 14名)

◎開会宣告・開議宣告

○議長(西村昭教君) 御出席まことに御苦労に存じます。ただいまの出席議員は14名でございます。

これより平成30年第5回上富良野町議会臨時会を開会いたします。

直ちに、本日の会議を開きます。本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

◎議会運営等諸般の報告

○議長(西村昭教君) 日程に入るに先立ち、議会運営等諸般の報告をいたさせます。事務局長。

○事務局長(深山 悟君) 御報告申し上げます。

本臨時会は10月30日に告示され、同日議案等の配付を行い、その内容につきましてはお手元に配布の議事日程のとおりであります。本臨時会に提出の案件は、町長から提出の議案2件、報告1件であります。

最後に、本臨時会の説明員につきましては、町長以下関係者の出席を求め、別紙配付のとおり出席しております。以上であります。

○議長(西村昭教君) 以上をもって議会運営等諸般の報告を終わります。

◎日程第1 会議録署名議員の指名について

○議長(西村昭教君) 日程第1 会議録署名議員の指名について、を行います。

会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により、議長において、

2番 岡本康裕君、

3番 佐川典子君 を指名いたします。

◎日程第2 会期の決定について

○議長(西村昭教君) 日程第2 会期の決定について、を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(西村昭教君) 御異議なしと認めます。よって、会期は、本日1日間と決しました。

◎日程第3 報告第1号

○議長(西村昭教君) 日程第3 報告第1号 専決処分の報告について(交通事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて)を行います。本件の報告を求めます。保健福祉課長。

○保健福祉課長(鈴木真弓君) ただ今上程いただきました報告第1号 専決処分の報告について、御説明申し上げます。

本件は、平成30年9月5日水曜日、午後0時45分ごろ、保健福祉課職員が公務出張により研修会参加のため、旭川市内駐車場において公用車をバックで駐車する際に、左隣に駐車しておりました車両の右前フェンダーに接触したものであります。この接触事故の処理にあたりまして、公用車側が後方確認を行ったことが主因でありますことから、過失割合を当方100%で示談が成立し、160,928円を損害賠償することで、平成30年10月11日に専決処分を行ったところであります。

なお、相手方の車は無人であり、当方職員においてもけがはございませんでした。また、当方の公用車の左後部テールランプ等修理につきましては、35,542円を交通事故等損害賠償保険金において対応していただいております。

今後におきましては、交通事故に十分注意を払い、同じことを繰り返すことのないよう職員に指導徹底してまいります。

この度の交通事故が発生しましたことを、深くお詫び申し上げます。

以下、朗読をもちまして、御説明とさせていただきます。

報告第1号 専決処分の報告について。

地方自治法第180条第1項の規定により、議会において指定されている事項について、次のとおり専決処分したので、同条第2項の規定により報告する。

記。

処分事項 交通事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて。

裏面を御覧ください。

専決処分書。

町が運行する車両の事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて、地方自治法第180条第1項の規定により、次のとおり専決処分する。

平成30年10月11日。

上富良野町長 向山富夫。

記。

1、和解の相手方。

第1表、歳入歳出予算補正。

1、歳出。

2款、総務費、96千円。

12款、予備費、96千円の減。

歳出合計、0円。

以上で、議案第1号、専決処分の承認を求めることについて（平成30年度上富良野町一般会計補正予算（第6号））の説明といたします。

御審議いただき御承認くださいますようお願い申し上げます。

○議長（西村昭教君） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより議案第1号の質疑に入ります。

11番、米沢義英君。

○11番（米沢義英君） 大枠でお伺いいたします。

要請がある業務内容等が恐らくきていたかというふうに思いますが、今回、どういう部門での支援という形で2名が派遣されたのか、確認しておきたいと思えます。また、もう1点は、また落ち着きもでてきているかとは思いますが、また必要に応じて要請があれば派遣という形になるのだろうというふうには思いますが、この2点について、お伺いいたします。

○議長（西村昭教君） 総務課長、答弁。

○総務課長（宮下正美君） 11番、米沢議員からありました、今回の派遣職員に関します業務内容の関係と今後の部分の2点につきましてお答えさせていただきます。

今回、当町の派遣しました職員については、罹災証明の発行業務とその内容及び罹災証明の受付業務ということで、当町につきましては割り当てられた業務となっております。

あと、今後の部分については、全道でやってございますので、また次の部分が支援としてきた際には内部で調整の上、基本的には、また派遣するというところで考えております。以上です。

○議長（西村昭教君） 他にございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（西村昭教君） なければ、質疑を終了いたします。討論を省略し、これより議案第1号を採決いたします。

本件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（西村昭教君） 御異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されました。

◎日程第5 議案第2号

○議長（西村昭教君） 日程第5 議案第2号、平成30年度上富良野町一般会計補正予算（第7号）、を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。総務課長。

○総務課長（宮下正美君） ただいま上程いただきました議案第2号 平成30年度上富良野町一般会計補正予算（第7号）につきまして、提案の要旨を御説明申し上げます。

本件は、商工会が実施するプレミアム付商品券発行事業に対する助成措置を講ずるため、所要額の補正をお願いするものであります。

なお、必要な財源については、予備費から充当することで補正予算を調整したところでございます。

それでは、以下議案の説明につきましては、議決項目の部分についてのみ説明をし、予算の事項別明細書につきましては省略をさせていただきますので、御了承願います。

議案第2号を御覧ください。

議案第2号、平成30年度上富良野町一般会計補正予算（第7号）。

平成30年度上富良野町の一般会計の補正予算（第7号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第1条 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

1ページをお開きください。

第1表につきまして、款ごとの名称と補正額のみ申し上げます。

第1表、歳入歳出予算補正。

1、歳出。

7款、商工費、1,400万円。

12款、予備費、1,400万円の減。

歳出合計、0円。

以上で、議案第2号、平成30年度上富良野町一般会計補正予算（第7号）の説明といたします。

御審議いただき議決くださいますようお願い申し上げます。

○議長（西村昭教君） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより議案第2号の質疑に入ります。

11番、米沢義英君。

○11番（米沢義英君） 今回、プレミアム商品券の発行事業という形で、何点かお伺いいたします。

発行にあたっての説明の中で、売上げの停滞、後継者不足等による諸々の、営業活動も含めた停滞という形になっております。そこでお伺いしたいのは、現状、上富良野の、相当活力が落ちてきているかなというふうに思いますが、業種別に見た場合、どのような影響、売上げ減という形になって、現状が表れているのか、まずこの点、確認しておきたいと思います。また同時に、相当消費が流出しているのかなというふうに思いますが、他町への流出というのはどのようふうに表れているのか、お伺いいたします。それと、今回発行にあたって、町と商工会の負担、経費の負担割合というものがあるのかなというふうに思いますが、その点、資料が見当たりませんが、この点わかれば、資料等でもあれば、お伺いいたします。同時に、昨年の購入状況に、お伺いしたいのですが、それぞれ優先順位で①、②、③という形になっておりますが、昨年度の場合は①から③、それぞれ購入の割合というか、比率というか、わかれば、どういうふうになっていたのか、お伺いいたします。それと、当然、商工会員数も前年度から、その前の年から比べて少なくなってきたのかというふうに思いますので、現在の商工会員数、非会員数等はどのようになっているのか、確認したいと思います。合わせて、総合的に個店の努力という形で書かれておりますので、それぞれのサービスの実施という形で、まだ状況をつかめていない部分もあるのかもしれませんが、どのような展開されるのか、わかっている範囲でお知らせしていただきたいというふうに考えております。以上です。

○議長（西村昭教君） 企画商工観光課長、答弁。

○企画商工観光課長（辻 剛君） 11番、米沢議員のプレミアム商品券事業に際します6点の御質問にお答えをさせていただきたいと思います。

まず、1点目の売上げ減の主だった業態ごとの状況ということでございますけれども、ほとんどのやはり業態で売上げ減少は起きているということになっております。最近の傾向としては、サービス業、小売業が、かなり落ち込んでいるという状況でございます。かろうじて飲食業は一定程度、横ばいでごんばっていただいているというような、概要ですけれども、こういうような状況となっております。

2点目の流失の関係で、購買力の流出ということでございますが、議員の御発言にもありましたとおり、やはり廃業がかなり多くなっているということになりますので、やはりそうした廃業した業態のものというのは他にそれを求めるということになってございますので、そういう部分では流出の影響という部分では、廃業した業種というものが主になってくるのかなというふうに思

っております。

あと、3点目の経費の負担の割合ということでございますけれども、今回のこの取扱いに際しまして、取扱い事業者がこの事業に参加した場合の換金手数料でございますけれども、こちらの方については会員が1%、非会員が2%ということと、それと商工会の自主財源も入れまして、そうした事務運営がなされるという、そういう内容になっております。

それと4点目になりますけれども、平成29年の、このプレミアム商品券の購入状況といいますか、使用状況ということになります。今回お聞きさせていただいております7,000組と同等の券を発売してございまして、売上げについては全部、額面にいたしますと8,400万円分が全部売れてございまして、換金率が99.81%という状況になってございます。ただ、御質問の優先順位ごとの割合というのはちょっと今、押さえてございませんので、ご了解いただきたいと思いますが、昨年7,000組にいたしまして、応募の結果は100組くらいオーバーしたというような状況で聞いてございます。

5点目の商工会の会員数ですが、正確ではないのですが、270店ということで、ただ今、押さえているところでございます。で、今回この事業に参加しております事業所が、このうちの238事業所ということになってございますので、ただ、非会員が何件かございますので、昨年になりますけれども、取扱い事業所が230事業所ございましたが、商工会員が223事業所、非会員が7事業所というような、今年もこういうような割合で進むのかなというふうに思っております。

最後に6点目の個店の努力という部分でございますけれども、今回こちらの方の事業に連動して、プレミアム商品券の利用者限定の特典チラシ等を配布しながら、その個店の取組みをPRするというのもございますし、あと、昨年の例でございますと、ほほえみカード会、こちらの方32店くらい加盟しているのですけれども、それプラス、協賛事業所ということで13個店が合流いたしまして45店舗でプレミアム商品券を使った、そういう複合的な連動キャンペーンというのが行われているということになってございます。

ぜひ、私どもの方としても、こういう取組みをどうし進めながら、商工会の方で取組んでいただくように、そういうような助言をして、充実に努めてまいりたいというふうに考えてございます。以上でございます。

○議長（西村昭教君） よろしいですか。

ほかにございませんか。

8番、竹山正一君。

○8番（竹山正一君） 今、同僚議員のいろいろな説明に対して回答いただいたのですが、これにつきまして、本年度は、当初からというか、夏場以降、基幹産業である農業関係も収穫量が落ちるぞ、悪いぞというような話が出ていました。そして、秋口になってから各燃料関係も高騰して大台っていうのですか、もう今までになかった金額、もう10数年前ですか、20年くらい前までの間であった中で一番上がりそうだという見込みの中で、商工会関係からの増額、発行取扱い数の増について、何か打診はあったのでしょうか。それとあと経済、発行とか、そういう、個店の努力については、指導しているということで、助言というか、力をつけてもらいたいというような内容でしたけれども、それらについての商工会とのやりとりというか要望、それに対する指導というか、そういうものはあったのでしょうか。お願いいたします。

○議長（西村昭教君） 企画商工観光課長、答弁。

○企画商工観光課長（辻 剛君） 8番、竹山議員の商工会との要望等の内容についての御質問にお答えさせていただきますと思います。

商工会の方から昨年より増額の要望があった経過でございます。ただですね、昨年1,000組分、補助金にして200万円増額したということもありますし、あと、昨年の実績ですね、先ほど米沢議員からの質問にお答えいたしました、100組の、予約から漏れたということで補助金額にすると20万円ということになります。あと、やはり一方では商工会なり、商工会員の経営基盤の安定だとか強化だとか、そういった取組みも総合的に進めるという、そういう御要望をいただいた時にお話を合わせてさせていただいた時に、商工会には昨年と同額ということで御理解いただいたというふうに認識しているところでございます。

○議長（西村昭教君） よろしいですか。

他にございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（西村昭教君） なければ、質疑を終了いたします。討論を省略し、これより議案第2号を採決いたします。

本件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（西村昭教君） 御異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されました。

○議長（西村昭教君） 以上をもって、本臨時会に付議された案件の審議は全部終了いたしました。

これにて、平成30年第5回上富良野町議会臨時会を閉会といたします。

午前9時29分 閉会

◎閉会宣告

上記会議の経過は、議会事務局の調製したものであるが、その内容の正確なる事を証するため、ここに署名する。

平成30年11月2日

上富良野町議会議長 西村昭教

署名議員 岡本康裕

署名議員 佐川典子